

Q&A アミール・ツアルファティ with バリー・スタグナー牧師

アミール・ツアルファティ

-ブラックライブスマターへの対応・千年王国後のサタンの出現ほか-

<https://youtu.be/zvr4YaQqB-E>

[アミール] 皆さん、シャローム。アミール・ツアルファティです。ガリラヤのオフィスから、ライブでお届けしています。カリフォルニア州タスティンのバリー・スタグナー牧師と隔週で行う、Q&Aセッションです。司会は、ミネソタ州ミネアポリスのマイク・ゴレイ牧師です。それでは、今すぐ、ここにわが友を二人追加しましょう。バリー牧師、シャローム、こんにちは。

[バリー牧師] シャローム、またお会いできて嬉しいです。

[アミール] シャローム、マイク牧師、お会いできて嬉しいです。

[マイク牧師] シャローム、皆さん、フォーラムの皆さんと、お会いできて光栄です。

[アミール] そうですね。この暗黒の時代、恐ろしいことを見ている私たちには、不変の神の言葉が信頼できることを知る、なんと素晴らしい機会でしょう！そして、これまで以上に、今日の我々の使命は、御言葉を教え、質問に答え、人々を、変えることのできない、変わらない、変えてはならない唯一のものへと導くことだと信じています。では、マイク牧師、お祈りから始めて、司会進行をお願いします。

[マイク牧師] そうしましょう。フォーラムの皆さん、この時間の為に、私と一緒に祈りしましょう。主よ、今、参加してくれた人たちと、後から参加する人たちを、ありがとうございます。私たちの受ける質問の全てに、満足に答えられるよう願っています。そして、私たちが生きている、この非常に奇妙な日々の中で前に進むための自信を、私たち全員に与えてください。あなたからの知恵をお与えください。また、テクノロジーが機能することを願っています。何よりも、主よ、私たちがあなたに栄光を帰し、今日からでも私たちが、あなたに引き寄せられ、初めてあなたとの関係を持つ人も出て来るようにとお祈りします。主イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

[アミール] アーメン、アーメン。ではマイク牧師、よろしくお願いします。

[マイク牧師] はい。すでに質問が来ています。ここでのルールを忘れないように。基本的に、聖書預言と、時に関する質問を受け付けています。すべての質問にお答えすることはできません。それが出来ればいいのですが、だからこそ毎週来ていただきたいのです。いつか、あなたの質問の答えが出る可能性がありますから。最初に取り上げたいのは、かなり興味深いもので、非常に関連性の高いものです。クリスタからの質問です。

Q: 「ブラック・ライブズ・マターのような運動を擁護するクリスチャンに、どう対応しますか？」

さて、これはちょっと注意が必要な質問の1つです。アミールは、この件について多くのことを話し、調べてもきましたね。そしてバリー、あなたもご存じです。アミールからどうぞ。クリスチャンは、“ブラック・ライブズ・マター運動”についてどう考えるべきですか？

[アミール] 彼らは、その運動の土台を知らないのだと思います。彼らは、その運動の裏表を理解していないのではないのでしょうか。彼らは、その運動の霊を理解していないのではないかと思います。彼らは、その運動が、非常に深い反ユダヤ主義のルーツがあることを認識していないと思います。だから、彼らは感情

や流行に突き動かされて、事実とも、現実とも、つながっていないのだと思います。ですから、2020年に、本当に国としてのアメリカが人種差別国家だと信じているクリスチャンを見るのは、とても悲しいことだと言いたいです。アメリカは、黒人が国の最高官職に就いたところ。アメリカは、実際、奴隷制廃止の先駆けでした。アメリカは、実際には芸能界、スポーツ界では黒人がほぼ過半数を占めていますね。複数の億万長者がいて、彼らはメディアに出ています。国としてのアメリカが、差別主義者の国だと私を説き伏せる事は絶対に出来ません。アメリカには、人種差別主義者がいると言う事は出来ます。しかし、イスラエルにも人種差別主義者がいると言えるのです。ほとんど…地球上のほとんど全ての国に人種差別主義者はいます。なぜなら、人種差別は罪であり、人は罪びとです。私たちはそれを知っています。ただ、あなたが罪と戦いたくないなら、罪をもって戦うことはできません。そして、ブラック・ライブズ・マターの罪は、憎しみの罪、不法の罪、欺瞞の罪、リストは、まだまだ続きます。だから、それよりも大きな間違いを持ってその間違いを打ち負かす事は出来ません。そして、警察官全員を悪人扱いしていますが、その論理で動くなら、私は黒人はみんな犯罪者だと思わなければなりません。なぜでしょう？なぜなら、黒人の中に犯罪者がいるからです。つまり…正直言うと、彼らがそれを持ち出すまで、私はこういうことについて、考えたこともありませんでした。そして彼らは、人種がすべて、肌の色がすべてだと、面と向かって言い始めたのです。私は、それをはるかに超えていると思っていましたが、どうやら違うようです。そして、私が理解に苦しむのは、クリスチャンが、ブラック・ライブズ・マターのプラットフォームを読んで、どうして、彼らに同調出来るのか。私は、クリスチャンが反ユダヤ運動に同調するのが理解できません。私には、悪と戦っている当局への資金の打ち切りを呼びかける運動に、クリスチャンが同調する事も理解出来ません。ところで、勘違いしないでください。事実について話したいのであれば、事実は、ブラック・ライブズ・マターの主張を一つも裏付けることはできません。非武装の黒人を撃つことも、警察がいなくても安全であることも、事実ではありません。この週末、シカゴで何が起きているか知っていますか？父の日、105件の銃乱射で、15人が死亡しました。犠牲者のうちの一人は3歳児で、全員とは言わないまでも、ほとんどが、黒人による黒人の殺害です。でも、警察は大したことが出来ないのです。クレイジーで、リベラルで、革新的な市長が、警察にやるべきことをやらせないから。警察の予算削減について語る時、実際に言っているのは、「不法が占領しろ！」私には、そう見えます。正直なところ、永遠のいのちが大事で、すべての命が重要です。そして、警察官の命、ラスベガスや他の場所で亡くなった黒人警官や、この全ての結果、命を落とした警察官たち、彼らの命は重要ではないなんて言わないでください。ですから、私が言いたいのは、これだけです。私たちが見ているのは、敵が働いていて、そして、それに気づかずに、人々が敵に利用されている様子です。なぜなら、それは、彼らが識別力を持っていないためです。彼らに分別がないのは、彼らが事実やみことばではなく、感情や流行に動かされているからです。ですから、それを見ていると悲しくなります。ほら、私は、これまでの自分の人生で考えもしなかった事、私の友たちには黒人が何人いて、白人は何人いるのか。というか、ご冗談でしょう？私たちは、それらのことや、そんな時代をはるかに超えています。確かに、人種差別は地球上のすべての国に存在します。ちなみに、言うておきますが、南アフリカに行けば、白人に対する人種差別があります。つまり、確かに言えるのは、ジンバブエに行けば、向こうでは、ほぼ毎週のように白人農家が虐殺されているのを見にします。私が言いたいのは、明確です。人種差別は罪です。しかし、アメリカの警察は、人種差別主義ではありません。国としてのアメリカは、人種差別主義ではありません。ちなみに、ジョージ・フロイドとの間に起きたような種類の事件は、オバマ大統領の時代に、もっと頻繁に起きています。そして、誰も何も言いませんでした。誰も、ここで革命を起こそうとは思わなかったのです。見てください。それは全て、巧妙に仕込まれていて、それは極悪非道で、悪魔的で、神の言葉からではありません。それは、神のみことばではありません。彼らはそれを利用しているのです。ちなみに、次は、私が聞いたのはイエスです。至る所に白人のイエスがあって、今、彼らは、それを潰そうとしています。私はただ言いたい。見てください。これが、どれだけ狂っていて聖書的ではないか、分かりませんか？バリー牧師は、アメリカ人として、これらのことについてもっと言いたいことがあると思います。

[マイク牧師] はい、バリー牧師、アミールが言ったように、ブラック・ライブズ・マターには、預言的な意味があるのでしょうか？表面上は、誰も反対できないような価値観に見せかけ、グローバルズムに貢献する為、その価値観を利用しようとする極悪非道な企てなののでしょうか？つまり、この組織全体を動かしているのは何なのか、その背景にある、預言的な意味を語っていただけますか？

【バリー牧師】 イエスは、終わりの日には民族間の緊張があることを話していたと思います。そして、今、起こっていることへの反応として、今日の教会で起こっていることの一つは、「声明と運動の間には違いがある」という声明が出されていますが、それは事実ではありません。アミールが言ったように、運動のリーダーの一人であるショーン・キングは、現在、ヨーロッパ人の顔をしたイエスの、彫像や美術品の全てを破壊するように呼びかけています。これについて、私が興味深いと思ったのは、これは、まさにISISがやったことです。ISISは、歴史を破壊し、中東や彼らの歴史、一般的な歴史から、ユダヤ人を代表するもの全てを取り除いて、現在行われている事と、その筋書きとをコントロールしたいのです。これには多くのことが当てはまります。特に不法の氾濫^{はんらん}、そして、基本的には、制度や条例といった、あらゆる権威の拒絶です。ローマ13章によると、「彼は神のしもべであって、悪を行う人には怒りをもって報います。」そしてここに、悲しいことに教会の多くが参加して、基本的に不法を推進しています。「悪い種が、いくつか、あちこちにあるから、全部捨てなければならない。」それは、とにかく聖書的ではありません。しかし、それは、聖書が告げている終末のレンズを通して見れば、「不法がはびこるので、多くの人の愛が冷えます。」(マタイ24:12) 私たちは、預言的にそれを見ているのです。

【アミール】 そして付け加えるなら、もし、この人たちにとって、黒人の命が重要ならば、彼らは、ブランド・ペアレントフッド(家族計画連盟)も資金を削るべきだと思います。基本的に、黒人の赤ちゃんは、産まれる数よりも墮胎される数の方が多いのです。ブランド・ペアレントフッドに中絶の対象として狙われている一番の民族グループは、黒人です。それでも足りないなら、警察が近所に入ることを許可しなければ、犯罪が起こり、そして犯罪は、父親のいない人たちを巻き込んで、彼らは父親なしで成長していくのです。そして今では父親役がいなくなって、彼らが犯罪者になる。これは、残酷な悪循環で、私には、まるで誰かが、彼らをゲッターに閉じ込めておこうとしている気がします。そして、彼らに教育を受けさせないで、その暴力の輪の中に入れておく、あるいは全く生まれて来ないようにしているようです。ですからもし、あなたが本当に、黒人の命の価値を信じるなら…、ところで、我々は皆、そうあるべきですよ。中絶から始めるべきです。そうすれば、言っておきますが、現在、ブラック・ライブズ・マターの背後にいる大物牧師の声は絶対に聞かないでしょう。私は、彼らが一言でも中絶について語るのを聞いたことがありません。彼らが、「中絶は罪である。」そして、「家族計画連盟によって行われている事も罪である」と明確に言及しているのを、私は聞いたことがありません。これは、私たちの周辺で起こっている、別のホロコーストです。でも、誰も何も言いません。もう勘弁してください。もしあなたが、ブラック・ライブズ・マターについて、聖書的な立場を取りたいのであればブランド・ペアレントフッドから始めましょう。警察の予算削減など考えてもいけません。逆に、実際に法と秩序を増やして、彼らが、安全と仕事を確保して、犯罪に巻き込まれないように、しなければなりません。見てください。シカゴは、この事件が始まって以来、さらに暴力が増えています。ニューヨーク市も同じ、オレゴン州ポートランドも同じです。シアトル、あそこで何が起きているか知っていますね? 民主党が運営するこれらの都市は、完全な混沌^{こんとん}に転落しているのです。どうして? それは彼らが、そこで起こっていることを、間違っただけのせいにしてしているからです。この狂気の沙汰は、極悪非道^{ごくあくひどう}だと思います。

【マイク牧師】 ええ、テサロニケ第二に書かれている不法の秘密がすでに働いているのが見えます。(テサロニケ第二2:7参照)

不法の秘密はすでに働いています。ただし、秘密であるのは、今引き留めている者が、取り除かれる時までのことです。(第2テサロニケ2:7)

当時もそうで、それは、増える一方です。そして、引き止める者が、方程式から取り除かれる時を想像してください。私は、90年代にシカゴに住んでいたのですが、通りを歩いていたら、2人のギャングが銃撃戦になって、私は、この銃撃戦に巻き込まれました。私はそれまで、銃撃戦に巻き込まれたことはありませんでした。それが、15秒以内に2台のパトカーがどこからともなく飛んできて、この間に入り、彼らはさっさと逃げましたが、もし、警察が来なかったらどうなっていたでしょう? 不法ですよ。想像してみてください。

[アミール] よし！

[マイク牧師] よし。さて、次は聖書の質問に移ります。

Q：「なぜ、悪魔が千年王国の終わりに解放される必要があるのですか？」

そこにはどんな価値がありますか、アミール？

[アミール] すごい価値があります。つまり、次に、神が大きな白い御座のさばきで人類を裁かれるのなら、（黙示録20:11参照）最後の最後に、悪魔を解き放つことで人の心をあらわにし、それに続く裁きが、義なる神の正しい裁きであることを示すことになるのです。

また私は、大きな白い御座と、そこに着いておられる方を見た。地と天はその御前から逃げ去り、跡形もなくなった。（黙示録20:11）

なぜなら、現実を直視してみると、これは大患難の後ではありません。これはイエスの霊だけではなく、イエス・キリストそのものがおられる千年王国の後です。主ご自身が、肉と血と霊をもってエルサレムから君臨され、サタンの影響はありません。悪魔の影響はないのです。自然の多くは、初日から本来あるべき状態に還元されます。物事は素晴らしいものになります。それが長い間続いた後で、人類がサタンに味方することを選ぶなら、次に来るのは、しかるべき報いです。実際、私は、イエスとともに、さらに千年戻ってこなくては行けないという事に、ずっと格闘していました。そして、私は気づいたのです。神は、皆に理解させたいのです。問題は、サタンだけでなく、人間の心だと。そして千年の間、サタンが周りにいません。しかし、二度目に解き放たれた時、ボン！彼は自分が心得ていることをし、国々を欺きます。そして人類は、彼らが心得ていることを行い、サタンに従います。だからこそ、裁きは間違いなく行われ、神は義です。いいですか、神は、どの時代にも、イエスの愛とイエスを通しての救いを証する者を置いておられ、そして、神は殺すのではなく、救いたいと願っておられるという事実は、いつの時代もそうだったのです。私たちがいなくなっても、私たちが、もはや地上からいなくなっても状況が悪くなっても、二人の証人が、そう言います。そして、14万4千人がそう言います。そして、千年王国を通して、私たち全員が、そう言います。それなのに、彼らはサタンの仲間入りをするのです。だから、私は、それは聡明だと思います。本当に人の心をさらけ出したいのであれば、サタンが解き放たれた時、彼らが誰と手を組むのかを見れば良いのです。

[マイク牧師] ええ、それは素晴らしい質問でした。その質問をしたのはジーンです。バリー牧師、何か付け加えることはありますか？千年王国の終わりに、サタンが解放されます。

[バリー牧師] アミールが言ったように、サイクルが完成するだけだと思います。最初は、アダムとエバの後、人間の意志に任せられ、人類はとても邪悪になり、神は地球を破壊しなければなりません。それから、人は律法を与えられました。神は、従って生きるべき律法を人に与えてくださいました。神のみことばに従うとき、あなたの人生はより良くなります。人は、その律法を拒絶し、それから神は、その律法を全うする為、ひとり子を送られました。彼らは彼を殺し、そして恵みの時代に入って、私たちは、御霊によって神のために生きる事が出来ています。そして終わりの時、ノアの時代のようになり、人々は、神を拒絶します。赦しは、求めればすぐに手に入るのに。そして最後に、アミールが言ったように、イエスご自身が地上を支配され、そして、千年の全期間、地上で可能な限りの完璧な状態になるのです。そして最終的に、主の側につくのか、主に反対するかを選択が人類に差し出され、多くの者は、イエスに敵対することを選びます。そして、そのサイクルの終わりがあります。つまり、私から見れば、神は、人間に救いを与えるために可能な限りのことをしてくださったのです。しかし多くの人は、主が何をしようとも、イエスよりも悪魔を選ぶでしょう。それが、大まかな話です。

[マイク牧師] 完璧な王と、完璧な法律、完璧な政府があり、千年の完璧な成功です。その経済がどのようなものになるのか、都市や州の美しさを、想像することしかできませんが、それでも…すごい、すごい。そうは言っても、皆さん…。

【マイク牧師】 では、まっすぐに飛び込んで…、ジュリーからの質問は、ちょうどこの千年王国についてです。

Q：「サタンは今、どこに住んでいますか？」

バリー牧師、その問題を解いてくれませんか？サタンには、家がありますか？彼には本拠地があるのか、それとも、どこに住んでいると思いますか？

【バリー牧師】 さて、現時点では、ペテロの手紙第一5章8節が告げる通り、吠えたける獅子のように、誰かを食い尽くそうと探し回っていることが分かっています。しかし、彼は、地球に立ち入ることが出来ません。ヨブ記によると、彼は天の御座に立ち入れることが分かっています。彼が、主の御前に、神の子らとともに現れた時、主はサタンに、「おまえはどこから来たのか」と尋ねています。（ヨブ記1:7a参照）「地を歩き巡り、そこを歩き回ってきました。」（7節b）だから私たちは、彼が少なくともこの時点では、天の領域、地上の領域に、出入りできることが分かります。彼は確かに、黙示録のアバドン（ヘブル語）であり、アポリュオン（ギリシャ語）です。（黙示録9:11参照）

いなごたちは、そこ知れぬ所の使いを王としている。その名はヘブル語でアバドン、ギリシア語でアポリュオンという。（黙示録9:11）

彼は霊界、墮落した霊界を支配する王である破壊者です。だから、彼はこの時点では、場所を限定されていません。しかし、彼は追放されて、地上に降りて来るでしょう。また、黙示録12章によれば、彼は自分の時が短いことを知っています。（黙示録12:12参照）だから今は、特定の場所に彼を置くことはできないと思います。しかし、彼の行き先は分かっています。獣と偽預言者が、生きたまま、硫黄の燃える火の池に、永遠に投げ込まれ、彼は、そこで彼らと合流して、永遠の永遠にそこで過ごします。

【アミール】 アーメン。

【マイク牧師】 ええ、どうぞ、アミール。

【アミール】 いいえ、あの、アーメンと言いました。

【マイク牧師】 うん、まあ、私は最前列の席がいいな。報いがあるから（笑）彼の新しい住所は「火の池通り1,100番地」でしょう。アミール、サタンの居場所に何か付け加えることはありますか？

【アミール】 正直に言うと、マイク、あなたがたが消えて、画面に再浮上したから、質問が聞こえませんでした。

【マイク牧師】 質問はサタンは今、どこに住んでいるのか？彼には家がありますか？彼には住所がありますか？彼はどこに住んでいますか？

【アミール】 ええと、私は実際に、バリーの言ったことに賛成です。いったん反キリストが明らかにされると、サタンが完全に地上に出てきて、それが起こるのは、明らかに私たちが上に上がり、「大いなる交換」が起こる時だと信じています。でも、それまではもちろん彼は、様々な場所に代表者を置いています。しかし、繰り返しますが、バリーの答えは完璧でした。

【マイク牧師】 さて、またバリー牧師に質問をふります。黙示録では、24人の長老について書かれています。ヴェルナーからの質問です。

Q：「黙示録の24人の長老とは誰ですか？」

24人の長老の正体は？何か、特定づける手がかりはありますか？

【バリー牧師】 彼らが、特定の集団で、ここから来たというような、具体的な証拠は、聖書の中にはありませんが、しかし、私が健全だと思う解釈の一つは、彼らは、イスラエルと、教会の両方の代表者であるということ。他の人たちは、12使徒だと言ひ、また別の人たちは、教会の指導者だと言ひます。しかし、彼らの身元や資格など、具体的には何も示されておらず、彼らはただ、神の御前に座っているだけです。12部族の長と12使徒の長...つまり、どうスライスしても、12+12は24になります。だから、それ以外は、これかもしれないとか、あれかもしれないというのを、聞いたことがありません。だから、彼らのアイデンティティを具体的に示すことは、出来ないと思います。与えられていませんから。

【マイク牧師】 ええ、それは難しいですね。アミール、付け加えたいことはありますか？

【アミール】 優れた人たちから私が習ったのはそこに名前が付いていない時は、それが誰なのかを推測しようとしてはいけない。繰り返しますが、24は、イスラエルの12部族と教会のための12使徒を表している可能性があります。とにかく、私たちには分かりません。それにね、こういう事は知らなくてもいいと思います。正直に言うと、誰かを怒らせるつもりはありませんが、しかし、聖書が名前を明かさないとこの選択をしたとき、それには、何らかの理由があるのでしょうか。ほら、たとえばモーセとエリヤが^{へんぼうざん}変貌山にいたとき、（マタイ17章参照）聖書は、「そして二人の人がイエスに加わった」と言うことができたかもしれません。しかし、聖書は彼らが何者であるかについて、非常に、非常に具体的に書いています。この場合、私たちが知っているのは、24人の長老、それだけです。でもね、我々が知っておくべきことは、これだけです。そして私たちが天国に到着したら...違う言い方をしましょう。あなたは、答えを知りたいですか？天国に行って、そこで尋ねてください。そこでは、皆、握手すると思いますよ。COVID-19の制限が適用されないから。（笑）私たちは握手をして、そして言ひます。「すみません、皆さんことは、何度も勉強してきました。皆さんのお名前を教えていただけませんか？」そして、相手が名前を言うと「もちろん！」あるいは、「全然違うことを教えていたよ。」私は、それに巻き込まれたくありません。私は、聖書に書かれていないことは、絶対に言わない人間として知られたいです。だから、私は、そこに着いて名前を聞いて、びっくりしたとしても、まだ大丈夫です。それにね、天国に行くことの素晴らしさは、たくさんの発見がある事です。今、私たちが知らない事が、そこに着いたときには分かるのです。すごくないですか？

【マイク牧師】 すごく良いですね！すごい！ここで、物事を理解する為の手がかりといえば、バリー牧師、反キリストの国籍を知っていますか？J.R.からの質問です。

Q：「反キリストの正体、いや、国籍は分かっていますか？」

聖句の中に、国籍を示す手がかりはありますか？

【バリー牧師】 地理的な場所が与えられています。基本的には、何らかの形で復活したローマ帝国から^{おこ}興ります。ヨーロッパ系、具体的には西欧系になると言ひ人もいます。他の人は、中東関連の言及がある所から、彼はイスラム教徒になるだろうと考えていますが、それは絶対にあり得ません。ユダヤ人は、絶対にイスラム教徒に従うことはありません。しかし、彼の個人的な国籍がどこであるか、決定的には言えないと思ひます。彼が興る地理的な地域は分かっていますが。そして、アミールが言ひたように、聖書が沈黙しているとき、私たちは沈黙する必要があります。我々には分かりません。彼は、アッシリア人として言及されていますが、それは^{ひょう}比喩的な称号です。ある人は、それが彼の国籍であると主張していますが、私は同意しないし、アミールも同意しないと思ひます。私たちは、私たちに与えられた限られた知識に固執するべきです。それは、彼が出てきて、立ち上がるということ。黙示録17章によれば、彼の周辺の他の指導者との連合をもたらし、彼らは、復活したローマ帝国と共に、大患難の時代、世界を支配しようとする。ダニエル書2章に出てくる像、鉄と粘土からなる10本の指、これは、ローマ帝国を象徴します。そして、粘土の部分は、弱くて脆い連合を物語ります。我々に与えられているのは、その程度の情報です。

【マイク牧師】 ええ、興味深い手がかりですね。アミール、何か付け加えることはありますか？

【アミール】 いいえ。私は、良い答えだと思います。実際、バリーの教会で、一年前だったか一年半前だったか、反キリストについて教えました。そこで、すでにそれを確立しています。私が間違っていなければ、ミカだと思いましたが、また他の預言者たちも、ツロの王かアッシリアの王について語っています。これらのものは、実際には、当時存在していた王たちに関する預言であり、あたかも、自分たちが、当時の世界の王であるかのように振る舞っていたことを立証しました。ですから、彼らは間違いなく反キリストとしては失格です。また、バリー牧師が言ったように、ダニエルが反キリストについて語るとき、同時に、西暦70年に神殿を破壊した帝国について語っているのです。しかもそれは、最後の週について語った節の数節後です。地理的に違う場所には持って行っていません。それは同じように、そのまま続けました。先ほど話したように、ダニエルが見た幻は、ヨハネが見た黙示録の幻とほぼ一致しています。ですから、彼が西ヨーロッパから来るのは間違いありません。実際、私はそれについて、2つのメッセージがあります。一つめは「ヨーロッパ 反キリストにさらに近づいて…」ではなく、一つめは「ヨーロッパ 反キリストへの準備が出来ている」そしてもう一つは「ヨーロッパ 反キリストにさらに近づいている」私は、彼が、その地域から出てくると思っています。フランクフルト・ゲルマン圏の可能性が高いと思います。さて、「マクロンはどうですか」と言う人がいますが、正直、私は、マクロンを見ていて、彼は、全世界を引っ張っていけるような男には思えません。彼は、自分の国を率いることさえできていません。フランス国内には、警察が立ち入れない地域がたくさんあります。マクロンは、マスタードの産地である、ディジョンの街に何も言っていません。そこは、完全に崩壊しています。あのような男は、どうかと思います。確かに、名前はマクロン“エマニュエル”「神は我らとともにおられる」とか何とか言いますが。彼についての良い点は、それだけです。この男よりも、ずっとカリスマ性のある人でなければなりません。でも間違いなく、私が信じているのは、バリー牧師が言ったように、それが誰なのか、我々が知る必要はありません。明らかに、彼が表舞台に立つ時には、私たちは、ここにいるべきではないからです。しかし、2千年前のローマ帝国があった場所から興ると、推測ができます。

【マイク牧師】 ジャネットからの質問です。

Q: 「私たちは天国でヘブライ語を話しますか？」

これに、私の質問も加えます。ヘブライ語でなければ、何語を話すのでしょうか？教会でヘブライ語を教えるらと？

【アミール】 私は、いつもイスラエルでゲストに言うのですが、皆さんが、天国でヘブライ語の勉強をする時、私はコーヒーを飲んで、皆が必死にがんばる姿を見て楽しめます。(笑)しかし正直に言うと、マイク、覚えているでしょう？人々がペンテコステの七週の祭りに来たとき、人々は世界中のさまざまな地域から来ていましたが、ペテロが言ったことは、誰もが理解していました。思い出してください。

【マイク牧師】 すごいですね。

【アミール】 繰り返しますが、私は信じています…。世界中のクリスチャンが、初めて、一同に会する初めての機会、それが「携挙」です。そして、その瞬間から私たちは、イエスとともに居続けるのです。だから、神は、誰もが理解できる言語を与えてくださると、私は信じています。そうでなければ、どうやってお互いに話しますか？でも、ヘブライ語だと言っているではありません。しかし、言うておきます。ヘブライ語になるとしたら、皆さんが困ります。そして、私は間違いなく満面の笑みを浮かべています。しかし、正直に言うと、これは、我々が懸念するべき事ではありません。私たちには新しい体があり、すべてが新しいのです。だから、お互いにどうやってコミュニケーションを取るかは、私たちが心配する事ではありません。神は、私たち全員が理解できる言葉を与えてくださるでしょう。それは、素晴らしいものになります！

【マイク牧師】 ええ、徹底した回答です。何か付け加えることはありますか？バリー牧師。

【バリー牧師】 そう、パウロが「愛の章」で話をした時、コリント第一13章。「たとえ私が人の異言や“御使いの異言”で話しても、愛がなければ…」(1節a)それは、もしかしたら、天国特有の言語があることを暗示しているのかもしれませんが。そして我々は確かに、みんな、学ぶこととなります。ヘブライ語であろうと、何語であろうと。神は、私たちがお互いにコミュニケーションを取れるようにしてくださいませ。

【アミール】 御使いたちが人を訪ねたとき、彼らは、彼らの言葉で話しました。思い出してください。御使いがギデオンに話した時、彼は、ギデオンの言語を話しました。また、ダニエルには、ダニエルの言語を。御使いは、すべての言語を知っていて、私たちも、おそらくすべての言語を知るようになるでしょう。私たちは、誰もが理解できる言語を持つと確信しています。私は、それについて心配していません。ああ、天国で、もう一つ発見がありますね！

【マイク牧師】 次の質問です。実は、これについて、私は考えたことがありませんでした。エリザベスからの質問です。

Q：「イエスが、私たちに用意してくださっている大邸宅は…」彼女は、ヨハネの14章について言及していると思います。「イエスが私たちのために準備しておられる大邸宅ですが、それは将来、天から降りてくる都の一部なのでしょうか？」

バリー牧師、どう思いますか？これらの大邸宅は、どこに行くのでしょうか？時系列はありますか？手がかりを見つけるのを、手伝ってください。

【バリー牧師】 私が思うに、この、天から降りてくる都を見れば、この1,500マイル四方の立方体が地球に降りてくるのですが実際に地球に触れているのか、地球の上で浮いているのかについては、議論があります。しかし、それこそが新しいエルサレムで、私たちがそこに住む、素晴らしい描写を与えられています。ですから、イエスがユダヤ人に伝えていたことの一部は、ユダヤ人の結婚式と、花嫁を迎えるために父の家の一部を準備するという伝統的な習慣に関係していて、そして、新しいエルサレムには神殿がなく、子羊がその光であるので、太陽の必要がないことを、私たちは知っています。そういう意味で、イエスは「わたしと父とは一つです」(ヨハネ10:30)と言われ、そういう意味で、私たちは、新しいエルサレムの父の家にあります。私は、それほど強引ではないと思います。奇妙なことに、それを矮小化^{わいしょうか}する人たちがいるのです。その言葉には「住居」という意味があるから、「だから“住む場所”が与えられるのだらう。」と。それは、私たちの想像を、はるかに超えます。私たちが、永遠に天国の新エルサレムで永遠に主と一緒に住む場所は、私たちの頭で設計出来るものを、はるかに超えていると思います。都の大通りは純金で、12ある街の土台石も、都の片側、もしくは両側にある門も、どれもが一つの真珠から出来ている。(黙示録21:21参照)物理的な情報は、非常に限られています。でも、一つだけ言っておくと、私たちは、そこにいられることを喜びます。

【マイク牧師】 確かなのは、もう、“モーテル6”は、ありません。それだけは確かです。(※米国&カナダの大手モーテルチェーン)アミール、何か付け加えたいことはありますか？

【アミール】 そうですね…私はこの二つの意見に悩んでいます。そして、その理由は、一方では、イエスが、2千年もの間、取り組んで来られたのであれば、素晴らしいに違いありません。その一方で、新エルサレムは新天新地に属していて、それは、最後の最後に創られます。そして、私たちがイエスと一緒に上った時は、まだこの天と、この地です。主が、すべてのものを新しくされるまで。そして、この天国ではまだ…つまり、ここにあるものはすべて、あちらにあるものの模造品です。神殿、祭壇、メノラー、これらすべてのもの。だから、今、天国に行けば、新しいエルサレムでは、もう、必要ないものを見れる可能性が高いです。だから、私は信じています…というか、覚えていますか？聖書は告げています。「目が見たことのない

もの、耳が聞いたことのないもの、そして、人の心に思い浮かんだことのないもの。神を愛する者のために、神の備えてくださったものは、みなそうである。」(第一コリント2:9参照)だから、バリー牧師が言ったように、素晴らしく、美しいものになると信じています。私は、それが新エルサレムだと信じているかと言えば、そうとは言えません。新エルサレムは、神がすべてのものを新しいもの、新天新地にするとき、そこに属します。それはおそらく、何よりも刺激的で、華やかで、美しいでしょう。そして、私はただただ、それが大好きです。

[マイク牧師] 主が、私たちのために場所を用意してくださっていることが、とても気に入っています。そして、その使命を、イエスが担っておられるのであれば、私は楽しみにしています。ええ、お二人とも素晴らしい回答でした。次の質問です。これはエリザベスからです。

Q: 「イエスが『後の者が先になり、先の者が後になります』(マタイ20:16)と言われた時、それらの文脈の中で、それはどんな意味を持っていますか？」

バリー牧師、その質問に対して何か見識はありますか？

[バリー牧師] ええ、ヤコブが、それについて言っていたと思います。

「主の御前でへりくだりなさい。そうすれば、主があなたを高く上げてくださいます」(ヤコブ4:10)

主との歩みについて、理解しなければならぬことがたくさんあると思います。そして、私たちの生きる時代は、「自分を最優先」の世代である事を認識すれば、「自分を愛そう！」といった思想です。悲しいことに、それは教会のコミュニティの中でも多くの人にも見られます。「握めるものは全て握め！神は、あなたが昇進し、儲け、物質的に祝福することを望んでおられる！」といった事を教えられています。しかし我々は、人生の中で謙虚な立場を取るべきです。そして、多くの場合、「まあ、彼らは天国で一番前の列に座るだろう」と見られている人々は、隠れた場所で、他の人のために絶えず神に請願して来た祈りの戦士で、彼らは、その働きのすべてに対して天国で、大きな報いを受け取るでしょう。私が思うに、それは、神の御前に謙虚になることの重要性を思い起こさせる言葉だと思います。自己推薦ではなく、パウロが言ったように「人を自分よりすぐれた者と思いなさい」(ピリピ2:3参照)これが、クリスチャンとして正しい姿勢であり、神はそれに報いてくださるのです。

[アミール] ええ、イエスが最後の晩餐で弟子たちに仕えられた時の、主の心を見れば、弟子たちの足を洗われたのは、彼の方でした。また、人々が自分を愛するようになることは、私たちの時代の特徴の一つであることも、知っています。最も早期の時代では、第二テモテ3章が告げているように間違いなく、謙遜で、奉仕者のような人物は、罪と権力闘争の環境の中にいるのは困難です。ところで、これらは、第二テモテが語っている終わりの世の、とても困難な時代であることは分かっています。しかし、歴史を通して私は見えて、例えば、教皇の制度は、2世紀から今までの、ほぼ全ての時代を通して、神が、イエスを通して言っていたこととは正反対のことを見えています。人にキスをされないとか、上座に座らないとか、人に崇拜されないなど、見ればすぐに分かりますが、宗教は、神の言葉が要求していることとは、ほぼ、逆の方向に導きます。だからこそ、イエスのこの言葉は力強いのです。「後の者が先になり、先の者が後になります」これは、この世界の霊や、人間の心、人間の考え方に反しますから。そして、唯一、それに到達するには、まず、聖霊があなたの内にある事、そして、新しい理解と新しい心が必要です。そうすれば、あなたは気づきます。自分は衰え、彼が盛んになければならない、自分を減らし、主が増大しなければならぬ、それが分かります。

[マイク牧師] ええ、そうですね、ありがとう。ここで、ちょっとだけカーブを投げます。普段私は、文脈の関係で、特定の聖句についてコメントする事には消極的ですが、事前に読んでもらうのは、常に得策で

すが、マタイ24章の内容は、よく知っていると思います。ジャネットからの質問です。マタイ24章40-41節。さて、私がお読みします。私は、そこまでカーブにしませんから。こうあります。

「そのとき、男が二人畑にいると一人は取られ、一人は残されます。(40節) 女が二人臼をひいていると、一人は取られ、一人は残されます。(41節) ですから、目を覚ましていなさい。あなたがたの主が来られるのがいつの日か、あなたがたは知らないのですから。」(42節)

そしてジャネットからの質問は

Q: 「これは携挙の前ですか、後ですか？」

難しい質問ですね。普段はこのような聖句を選んで、お二人に投げかけたりしないんですが、これをやりたいですか？バリー牧師、始めますか？

[バリー牧師] いいえ。(笑い) マタイによる福音書24章は、大きなパズルで、アミールと私は、オリーブ山で、これをチームで教えることを計画しています。これはオリーブ山の垂訓なので、実際にオリーブ山に座ってこれを体験してみようか、と。アミール、これについてコメントしますか？(重複中…)

[アミール] バリー牧師が、それに答えたいと言っています。冗談で言っていたのです。

[マイク牧師] 分かりました。どうぞ。

[バリー牧師] ええ、これは激しく議論の分かれる問題です。オリーブ山の垂訓^{すいくん}が大患難以外の時間帯と関係があるかどうか。多くの素晴らしい敬虔な人たちは言っています。「これは、ダニエル書の70週目に、厳密に関係していて、その外側とは一切関係ない。」これには弱点があると思います。特にこの一節では、日や時間を知ることができないということと、夜に泥棒のように突然、あるいは不意打ちでやってくるということが平行して語られています。そして、私たちには、教会の歴史の中に一つの特別な出来事があります。その出来事は、予告なく起こり、それは差し迫る教会の携挙です。差し迫るとは、通知なしに突然やってくることを意味します。そして携挙は、そのようにして起こるのです。さて、オリーブ山の垂訓には、羊と山羊に分けるとある為に、これを「一人は取られ、一人は残される」と見る人もいます。言い換えれば、一人は千年王国に連れて行かれ、もう一人は残される、と。そして繰り返しますが、それを立証できると思います。聖書の一般的な習慣は、天地創造の物語の最初の部分でさえ、概要を説明し、その後に詳細を繰り返すことが多いです。そして、これを厳密な年代順に読む必要はありません。そのため、列挙された出来事が、その通りに起こる必要はありません。ですから、一人が連れ去られ、一人が残されるということは、教会の携挙を暗示している可能性が高いです。このような世界的な出来事があり、…携挙は世界的な出来事です。しかし、羊と山羊を分ける話のところで、また立証出来ます。というのも、聖書では、同じ出来事を、複数の形で描写することは珍しくありませんから。ですから、それを限定できるかどうかは分かりませんが…、個人的に私は、オリーブ山の垂訓が、厳密に7年間の大患難期に限定されているとは思いません。単純に、大洪水の前の時期について言及されていますから。そこには、大洪水の前の時代を表す事柄が記述されていて、それは、神の直接の御怒りが地上に降り注ぐ季節だったのです。ですから、大患難の前に言及している部分があると思います。私の言うべき事は、以上です。

[マイク牧師] はい、ありがとう。アミール？

[アミール] まあ、私たちは、物事をできるだけシンプルにする必要があると思います。バリー牧師がおっしゃったように、聖書の中で、誰もその日、その時を知らない出来事、しかも、ある人は取り去られ、他の人は残されるのです。これは、一方はどこかに行き、もう一人はそこに留まる、というのではありません。ある人は、そこに留まり、していた事を続行し、一方で、もう一人は、完全に取り除かれるのです。これは、携挙以外の何ものでもありません。私は、これは携挙だと思います。これは、私の心にある携挙の描

写です。信じられません。非常に多くの人が、「アポスタシアタ」が携挙だと早まった事を言い、一人が取り除かれ、別の一人が残ると聖書に、こんなにはっきりと書かれているのに、彼らは、これを携挙だとは言いません。さて、もう一つ、お伝えしますと、これが、羊と山羊だと言うのは、少し厄介なのです。その理由もお伝えしておきます。マタイによる福音書25章で羊と山羊について語られ、ヨエル書3章で、同じ裁きについて語られていますが、これは、必ずしも個人について語られているのではなく、国家です。神が、国々を裁くという話です。全ての諸国が、やって来る。そして、後に、生き延びる国について語っています。神は、例えば、エジプトのことを話しています。エジプト人ではなく。そういう意味では、大患難の終わりの国々の裁きについて語っているのではないと思います。ここで彼が語っているのは、間違いなく…、またしても常識です。とにかく、そのまま、ものすごくシンプルだと言いたいのです。大洪水以前の話があり、…私たちは、ノアの時代を生きていると思います。そして、「その日、その時は誰も知らない」とあり、そして、「一人が連れ去られ、一人が残る」という事実があります。牧師の中には、この“連れ去られる者たち”は、裁判や破滅や何かに連れて行かれると教えている人がいます。言い換えれば、彼らは別の携挙があることを暗示しているのです。他の目的で携挙される、と。私の見方では、神には二つの携挙がある、とは聖書は言っていない。義人の携挙と、不敬虔な人の携挙。義人が天国に行く携挙があります。そして、私は信じています。不敬虔な者は、この地上で死ぬのです。彼らは、地上から連れ出されることはありません。彼らは、戦争中に死ぬでしょう。彼らは、飢饉の間に死ぬでしょう。彼らは、自然災害で死ぬでしょう。神は、彼らをどこかに連れて行って、そこで殺す必要はなく、実際に裁きは、この地球上で起こるのです。繰り返しますが、これは単なる常識です。私が思うに、バリー牧師、私が間違っていなければ、あなたと私で発見しましたね？一緒にいた時に…、どこだったかな？

[バリー牧師] シンシナティ。

[アミール] シンシナティで。私たち両方が同意しました。あの聖句は、ノアの時代が、現代の私たちの日々を大きく描写していること、そしてその一節が、携挙そのものを暗示している可能性がある。

[バリー牧師] ええ、そうだったね。私たちが話したように、あなたも私も何度も話しましたが、大患難の時代の後半には、花婿の声は聞こえてきません。そして、この売ったり買ったり、嫁いだりめとったり、すべてのグローバルな商業は、地表で起こっている出来事によって混乱します。神の御怒りの時代には、“日常の光景”はありません。人々は命がけて逃げ、隠れ、そして、山々や岩に向かって言うのです。

『…御座に着いておられる方の御顔と、子羊の御怒りから私たちを隠してくれ。…』 (黙示録6:16抜粋)

ですから、オリーブ山の垂訓を、厳密にダニエル書の70週目に限定することは、適切ではありません。なぜなら、ノアの時代以前は、ノアが乾いた土地で船を建造して、ある種の歴史的な出来事の準備をしていたにもかかわらず、人々はそれらの兆候に無関心だったのです。彼らは売ったり買ったり、めとったり、とついたり、まるで、何も起こらないかのように行動していたのです。主が箱舟のドアを閉めて、雨が地上に降り始めた日まで。それが今の時代なんです。非常に明確な兆候に対して、無関心です。患難の時代が遠からず、したがってそれに先立つ携挙が戸口まで近づいている、という兆候。

[アミール] アーメン。

[マイク牧師] 皆さん、ありがとうございます。ここに1つ、テレサからの質問です。

Q: 「聖霊が取り除かれた場合、大患難の最中に、救われる人はいるのですか？どのようにして？」

ワクワクしているようですね、アミール。では、これをお願いします。

[アミール] 私はこの質問が大好きです。純粋な質問ですね。私たちは、いつも信者の中の聖霊、教会の中の聖霊が取り除かれなければならないと教えてきました。だから、それは非常に良い質問であり、私はその質問が大好きです。しかし、教会がなかった旧約聖書の時代を見てください。当時、聖霊は来て、聖霊は

人々の上に臨んでいました。人々から離れたり、人々の上に臨む事ができました。そして、まさに、聖霊が旧約聖書の地上におられたように、聖霊は、私たちが言うところの「限定された存在」だったのです。教会の中にある方法や形ではなく。だからこそ、黙示録22章で「御霊と花嫁が言う。『来てください』」（17節）御霊と花嫁は一緒であり、分離することはできません。聖霊なくして、花嫁はありません。花嫁がまだここにいる場合、聖霊を地上から取り除くことはできません。それで、二人は一緒に行き、両方が一緒になって、「主イエスよ、来てください」と言います。それが教会を特別なものとし、教会が花嫁である理由です。それに対して、教会が取り去られた後は、誰も花嫁ではありません。ですから、基本的には、聖霊が、再びここに存在する事は出来ます。再び、人々は二人の証人のメッセージや144,000人のメッセージなどに応えることができます。そして、信仰に至る人もいるでしょう。聖霊がなくて、イエスを信じる信仰に至ることは、あり得ません。それは成立しません。だから、聖霊がそこにいなければなりません。でもそれは別物で、容量も違うし、時代も違います。だから、全く聖霊がなくなるわけではありません。しかしそれは、花嫁である教会の中に宿る聖霊ではありません。そういうことではありません。私たちがいなくなって初めて、教会がここにあった時、聖霊の存在が、どれほど独特であったかを、人々は理解するのです。地球は、すっかり不敬虔となり全く神を恐れぬのです。考えてみてくださいよ、マイク。考えてみてください。現在のアメリカは、不法状態にあります。現実を直視しましょう。ほとんどの人は、それが気に入りません。そしてそれを直視しましょう。ほとんどの人は、その中の不敬虔さを見ることができます。いいですか？でも我々がここを出た瞬間、そして、道德規範がなくなった途端…、なぜなら、引き止める者がいなくなってしまうから。引き止める者がいなくなれば、それまでです。神を恐れません。そうすると、信者である人、その能力を持ち、聖霊を持つ人たちは、とても孤独で、全く違ったものになるのです。今とはまったく異なる働きになります。ほら、私たちは、世界がこれまでに見たことのないものを目にしています。私たちは、地球の歴史の中で、今までになかったような時代を楽しんでいます。そして、我々は、それに感謝すらしていません。それが、どれほど素晴らしいかを理解していないから。しかし、もしあなたが理解さえすれば…、私たち信者と、私たちの内にある聖霊が、今、この狂気が、完全な混沌となるのを防いでいるのです。そして、私たちがここを出た途端に、無法が、地球の掟になってしまうのです。

[マイク牧師] そうですね。

[アミール] 反キリストの名前は何ですか？不法の者。

[マイク牧師] ええ。

[バリー牧師] そうです。

[アミール] ですから、私が言いたいのは、聖霊は存在します。しかし全く別の方法で、別の現れ方になります。そして、その時に、聖霊を受け取れるだろうという希望を持って、今、聖霊を拒絶してはいけません。同じではありませんから。本当のことを言っています。そして繰り返しますが、ちなみに、今、あなたがイエスを受け入れなければ、おそらく、その時には彼を受け入れることはないでしょう。基本的に、私はそう見えています。その時に、福音に答える人もいるかもしれませんが、今、福音を聞いて拒否した人と同じかどうかは分かりません。なぜなら、彼らは激しく盲目にされますから。——ところで、聖書にはこうあります。

「彼らが滅びるのは、自分を救う真理を愛をもって受け入れなかったからです。それで神は、惑わす力を送られ、彼らは偽りを信じるようになります。」（テサロニケ第二2:10~11）

だから、言っておきます。今、主を拒絶してはいけません。信仰に至る人たちにとってはとても異なるものになるでしょう。彼らにはコイノニアがありません。…違うものになりますよ。マイク。異なります。

[マイク牧師] ええ。他の影響力があって、そして彼らは、命がけて逃げる事になります。それに対して、今は社会のあらゆるレベルに教会がいるのです。そこから連れ出されるのです。なんてことでしょう。その時の無法状態は、想像も出来ません。バリー牧師、聖霊と信者がパートナーとなっている時、それを取り除いたらどうなるのでしょうか？そして、大患難の中で信仰を持った人たちにとって、患難は、どのように映るのでしょうか？それがどのように見えるか、全体像を教えてください。

【バリー牧師】 さて、ヤコブの手紙1章21節はこう述べています。

「ですから、すべての汚れやあふれる悪を捨て去り、心に植えつけられたみことばを素直に受け入れなさい。みことばは、あなたがたのたましいを救うことができます。」（ヤコブ1章21節）

そしてそれは、私たちが患難期に見ることになるのです。神のことばは決してむなしく帰らず必ず、大患難の最中にも実を結ぶ場を見つけます。そして、処刑される者は、特別に、その信仰の為、イエスの証しと神の言葉のために、斬首されるのです。ですから、神の言葉は動き続け、聖霊は引き寄せ続けるでしょう。ヨハネ6章44節は、言っています。

「わたしを遣わされた父が引き寄せてくださらなければ、だれもわたしのもとに来ることはできません。」（ヨハネ6:44）

ですから、神は、人を引き寄せ続けます。しかし、アミールが助言していたように、私も心から同意して言います。患難のことはすべて飛ばして、今、イエスの御元に来なさい。なぜなら、

1) あなたは国家の敵になるから。

2) あなたはその日、文化の敵になりますから。

そして、日々を営む上で、印を受けるか、受けないかの選択を迫られることとなります。印を受け入れれば、永遠の運命を封印することとなります。印を拒むなら、一時的な運命を封印することとなります。なぜなら、反キリストは印を受けていない者を追い詰めて、処刑するからです。そして聖書によると、全世界が彼らに追従し、その致命的な傷が癒された獣の像を崇拜します。ですから、地球全体にとって、恐ろしい時期になるでしょう。しかし、特に私たちが認識しなければならないのは、この群衆、あらゆる部族、言語、国、この人々、私たち全員が経験したのと同じ手段で、大患難期に、キリストを信じるようになるのです。つまり、神のみことば、キリストの福音を聞くことによってです。しかし、彼らにとって、非常に厳しい事になるでしょう。彼らは、命をもって、その決断の代価を払うことになるのですから。だから、今…特に今、私たちは、期待して生きる事が出来るのです。瞬く間に取り去られ、死をすべて飛ばすことができます。私は大賛成ですよ。教会には何度も言っていますが、私は、死ぬことは恐れてなくて、その方法に不安があります。私はむしろ、たちまち、一瞬のうちに取られ、主と一緒にいる方が良いです。信者にとっては確かに良い時期ではありませんが、未信者にとっては、患難の時期は、さらに悪い時期です。

【マイク牧師】 ええ、とても良いですね。とても良いです。あと2分で1時間経過というのが、悔やまれます。リスクを冒して、最後の質問を押し込みたいと思います。それは、アミール、

Q：「聖書的に『主の日』とは何ですか？」

聖書で「主の日」という言葉が使われていますが、それは、文字通りの24時間のことでしょうか。それは、時代なんでしょうか？つまり、「その日」とは何ですか？それは携拳ですか？それは再臨ですか？つまり、「主の日」とは何ですか？

【アミール】 「主の日」の描写のほとんどは、地上にいる罪人たちに降りかかる恐ろしい試練、恐ろしい時のことを描いています。そしてそれは、キリストを受け入れて、絶対に避けた方が良いですよ。つまり、「主の日」とは、ここで起こっている事を、主が処理して下さる時なのです。そして、これこそがダニエルの最後の週、「主の日」が反キリストが登場しなければ始まらない理由です。なぜなら、彼こそが、ダニエル書の最後の週の始まり、患難の7年の始まりを示すものだからです。そして、それをテサロニケの信徒が理解していなかったのです。人々は彼らに、70週目がすでに始まったと、言いました。人々は、おそらく彼らに言ったのでしょう。「なあ…」さらには、パウロの署名を偽造したり、パウロの代わって何かを書いたりしたのかもしれませんが。だからパウロは言ったのです。「誰も信じるな、私の名前や署名があると言っ

でも信じるな！いやいや、違います。主の日は、今までになかったような時代です。また、背教だけではなく、不法の者の台頭とそのすべてがあるはずですが、しかし、心配する必要はありません。あなた方は、彼に会うことはないのだから。あなた方は、この場所から連れ出されて、それから、彼が姿を現すのだ。」だから、信者であるあなたがたが、その主の日に、ここにいることは、あり得ません。そして、聖書の多くの場所で、「主の恐ろしい日」が説明されています。だから、私は、主の日は、7年間の大患難を説明する別の方法だと思っています。それは、24時間の期間ではありません。ダニエル書での1週間が7日間でないのと同じように。実際、それは7年です。ですから、聖書には、興味深い時間軸での破局的な出来事、預言的な出来事を言及する独自の方法があります。しかし、間違いなく、すべての預言書の記述から、それは24時間のものではありません。それは、この世界に来る7年間の大患難の記述であり、イスラエルは、その大患難を経験することになります。教会は、それを通る運命にはありません。私たちは、神の御怒りに会うようには定められていません。（テサロニケ第一5:9参照）

神は、私たちが御怒りを受けるようにはではなく、主イエス・キリストによる救いを得るようには定めてくださったからです。（第1テサロニケ5:9）

そして、私たちは、試練の時から、取り出されます。私たちは、この世に来ようとしているその試練の時から、それを通してではなく、取り除かれて、救われます。（黙示録3:10参照）

あなたは忍耐についてのわたしの言葉を守ったので、地上に住む者たちを試みるために全世界に来ようとしている試練の時には、わたしもあなたを守る。（黙示録3:10）

フィラデルフィア教会の御使いへのイエスの言葉にもあるように。ですから要は、これは、7年間の大患難の説明である事を、理解することが重要です。

[マイク牧師] ええ、バリー牧師、この質問に対して最後の言葉をお願いします。

[バリー牧師] ああ、ゼカリヤ12-14章は、間違いなく大患難を説明していて、「その日」というフレーズを16回使っています。そして、その日は「主の日」と呼ばれています。ですから、圧倒的な証拠は、この、一番よく使われているフレーズが、ダニエル書の70週目とか大患難の時に使われている点だと思います。だから、私は心から同意します。

[マイク牧師] はい、見てください。1時間を2分過ぎてしまいました。よくやったと思います。たくさん質問に答えられたと思います。全部にお答えできなくて残念でしたが、次回、またいらしてください。ということで、アミールにお返しします。アミール、何かアナウンスすることはありますか？ネット上では様々なことがあります。

[アミール] オンラインで、多くの予定があります。私は、木曜日に、黙示録にある2人の証人について教えます。イスラエル時間の木曜日午後8時に、ぜひともご覧いただきたいと思います。明日、ズームで、初めての国際祈禱会をします。世界中の皆さんからのご参加を歓迎します。祈りは最も重要なことですから。重要と言えば、これは不可欠です。特に、アメリカの皆さんは本当に、ぜひいらしてください。ただし、ズームだけでなく、Behold IsraelのYouTubeチャンネルでも、ライブストリームを行います。それを毎週やることにしました。もちろん、他にもいろいろなことがあります。とにかく見てください。皆さん。私たちはこの暗い時間に、おしゃべりを減らしてもっと祈る必要があります。私たちは、ひざまずく必要があります。皆さんに呼びかけます。明日、ご参加ください。間違っていないか、イスラエル時間の、午後9時？間違いないですか？

[マイク牧師] ええ、Facebookのイベントをチェックしてください。そうすれば、すべての時間が分かります。Facebookのイベントです。

[アミール] ええ、だからあなたが私たちに加わったら、私たちはあなたの顔を見て、あなたの声が聴けます。これはズームです。そうでない場合は、YouTubeライブストリームで視聴できます。そうですね、各国のために祈ってください、世界で起こっていることのために、ですが、ここのコメント欄にはたくさんのコメントが載っています。ここにいる多くの人の…、配偶者が信者ではありません。だから、私たちは家族のために祈りたいと思います。ご存じの通り、私たちの家族は攻撃を受けています。私たちの子どもたちは攻撃を受けています。私たちは祈らなければなりません。必死で祈る必要があります。神は、祈りに耳を傾けてくださいます。これは、神の御前に立ち上るかぐわしい香りです。(黙示録8:3~5参照)

また、別の御使いが来て、金の香炉を持って祭壇のそばに立った。すると、たくさんの香が彼に与えられた。すべての聖徒たちの祈りに添えて、御座の前にある金の祭壇の上で献げるためであった。香の煙は、聖徒たちの祈りとともに、御使いの手から神の御前に立ち上った。それから御使いは、その香炉を取り、それを祭壇の火で満たしてから地に投げつけた。すると、雷鳴と声かとどろき、稲妻がひらめき、地震が起こった。(黙示録8:3-5)

そして、ヨハネは、祈りが天国に到着したときの様子を見たのです。つまり、あそこにあるのです。これらは、聖人の祈りだと彼は言っています。だからこそ、私たちは本当にそれをしたいですし、ぜひとも、参加していただきたいと思います。

[マイク牧師] ええ、繰り返しますが、明日から始めます。たくさんのスタッフがいたので、我々スタッフにも会えるでしょう。太平洋標準時は11時です。山岳標準時では12時、中部標準時では1時です。あとは計算してください。アメリカなら、東部時間は2時です。繰り返しますが、イベントページに載っています。そうそう。

[アミール] バリー牧師、今回もご参加いただき、ありがとうございました。

[バリー牧師] いつも、特権です。

[アミール] 来週、バリー牧師とマイクは、実際、初めて中東アップデートを行います。私は、やらなければならないことと、行かなければならない場所があるので、私の分を補ってください。待ち遠しいです。引き受けてくださって、ありがとうございました。皆さん、ありがとう。バリー牧師、お祈りで締めくくっていただけますか？

[バリー牧師] もちろんです。

主よ、私たちはあなたを知ることができて、とても祝福されています。私たちが名前を呼んでくださり、ありがとうございました。あなたは、私たちの頭の毛の数までご存じです。主よ、あなたは御目をもって、あまねく全地を見渡し、その心がご自分と全く一つになっている人々に御力をあらわしてくださるのです。主よ、私たちは、あなたの見守りに感謝します。私たちの歩みを指示してくださる、聖霊に感謝します。私たちは、この暗黒の時代に立つために、絶対的な真理を与えてくださる、あなたのみことばに感謝します。ですから主よ、アミールが言っていたように、私はそれらのために祈ります。未信者の配偶者を持つ人たちのために、彼らが救い主、主としてのキリストを知るように祈ります。そして、あなたは、信者である彼らの仲間を、説得する声、真実の声として用いて、あなたご自身に、彼らを召し出す事がお出来になります。ですから、祈りを含めて、この祈りという美しいものを私たちに与えてくださったことを、改めて感謝します。あなたの御前、ペールの向こう側に出て、私たちの望み、必要なものを、あなたにお伝えする事が出来ます。また、あなたが私たちを導き導くように、私たちのために、あなたの御心が何であるかを知るために。だから主よ、このような時代に、あなたが私たちの魂の希望の錨いかりとなり、頼りにし、しがみつ়く存在であることを感謝します。だから、私たちは今、あなたの祝福を祈ります。イエスがここを歩いておられた時のように、私たちが、父の御業みわざに関わることができるよう助けてください。そして、これらのことをイエスの御名によってお祈りします。アーメン。

[アミール] アーメン。皆さん、ニュースレターのご登録をお忘れなく。ウェブサイトにログインすると、ニュースレターをご購読いただけます。YouTube、Facebook、Twitter、Instagramでフォローしてください。BeholdIsrael。ソーシャルメディアで、バリー牧師をフォローしてください。バリー牧師、あなたのソーシャルメディアを教えてくださいませんか？

[バリー牧師] YouTubeで「The Truth About God (神についての真実)」または、私の名前から見つけることができます。Facebookで、私の公人ページをフォローできます。私の名前、BarryStagnerです。そして、インスタグラムでも、再びBarryStagner。CCTustin.orgで、私たちの教えを聞くことができます。よろしければサイトに行って、そちらでもご視聴ください。

[アミール] すばらしい！皆さん、またお会いできて光栄です。God bless you！ 2週間後にまたお会いしましょう。God bless you! God bless you all！

イスラエル、ガリラヤからシャローム。
さようなら。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.07.12 (Sun)